

平成27年度事業報告

平成27年度は、平成27年3月の第5回理事会の議決を経た事業計画に基づき、道路橋点検士技術研修会、橋梁保全に関する調査研究等の自主研究、講演会、国際シンポジウム、セミナー、助成、国内外の支援活動、広報及び橋梁の点検・検査（診断）業務等を実施した。

1 実施事業等

1-1 研修等

(1) 道路橋点検士技術研修会

橋梁の点検を行う橋梁点検員の技能を向上させるため、平成27年度は道路橋点検士技術研修会（旧橋梁点検技術研修会）を7回実施した。平成27年度の研修修了者は1,059名、平成6年度からの累計開催数は計80回で、累計の研修修了者は11,289名となった。併せて道路管理者を対象とした道路橋点検技術講習会を1回開催し、112名が受講した。

(2) 道路橋点検士制度

道路橋点検士は、平成27年1月に国土交通省「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程」に基づく「技術者資格登録簿」に登録され、平成27年度は1,100名（累計4,092名）の道路橋点検士の登録を行った。また、平成15年度以前の研修修了者を対象とした道路橋点検士切替技術研修会を1回実施し54人が受講した。

さらに、新たな資格として道路橋点検士補を創設し、平成28年2月に同じく「技術者資格登録簿」に登録され、平成27年度は324人の登録を行った。

1-2 自主研究

(1) 国際会議への参加

以下の国際会議等に職員を派遣し、橋梁技術に関する意見発表、情報収集、研修受講を行った。

会議名	日程	会議場所
2015 fib シンポジウム及び橋梁調査	5月16日～5月26日	コペンハーゲン(デンマーク) ミヨー、ニーム(フランス)
PIARC(世界道路協会)TC4.3 および橋梁の維持管理セミナー	5月25日～6月1日	ブカレスト(ルーマニア)
IBC(国際橋梁会議)2015、米国橋梁調査	6月7日～6月15日	ピッツバーグ、サンフランシスコ (アメリカ)
米国橋梁点検技術研修(FHWA-NHI) 受講	7月11日～7月29日	フロリダ(アメリカ)

第 8 回ニューヨーク市橋梁会議	8 月 23 日～8 月 29 日	ニューヨーク(アメリカ)
IABSE 会議 2015 及びフランス橋梁調査	9 月 22 日～9 月 29 日	ジュネーブ(スイス) パリ・ルアーブル(フランス)
第 25 回世界道路会議及び橋梁調査	11 月 1 日～11 月 7 日	ソウル、釜山(韓国)
PIARC 道路橋委員会及び国際橋梁シン ポジウム講演者打合せ	3 月 6 日～3 月 11 日	パリ(フランス)

(2) 賛助会員特別講演会の開催

平成 25 年度より賛助会員を対象として、橋梁調査会の取組みと時事テーマを取り上げた講演会を年度初めに開催しており、平成 27 年度は元国土交通省技監の菊川滋氏より「我が国の道路政策を考える」をテーマとして講演が行われた。参加者は 183 名である。

(3) 第 3 回国際シンポジウムの開催

平成 25 年度より開催している、国際シンポジウム「世界の橋梁建設とメンテナンス」を 10 月に開催した。講演では、アメリカ、イギリス、チリ、日本の講師から、各国の橋梁建設、橋梁メンテナンスについて報告された。参加者は 434 名にのぼった。

(4) 橋梁メンテナンスセミナーの開催

平成 26 年度に引き続き、賛助会員を対象とした技術セミナーを 6 月に開催した。耐候性鋼橋の損傷をテーマとして、当調査会西川専務理事（当時）および論文発表者の講演と、参加者とのディスカッションを行った。

(5) 助成

① 橋梁技術に関する研究開発助成

橋梁技術に関する研究開発に関して公募し、優秀計画と認められる 2 件に対して、当該研究開発に要する費用の一部を助成した。

- アクティブ・ラーニングを基軸とする橋梁メンテナンス技術者育成カリキュラムの研究開発
- 表面吸水試験を用いたコンクリート床版のスケーリング抵抗性の評価方法の開発

② 国際会議への参加に関する助成

国際会議において発表する予定の橋梁技術に関する論文を公募し、1 件に対して会議参加費用等の一部を助成した。

- 会議名：The 27th Conference on Structural Failures

(6) 支援活動

① 国際会議等への協力

PIARC（世界道路協会）TC 4.3（道路橋）委員会の計画・調整を行うとともに、同委員会の運営を行った。

② JICA等研修への協力

JICA等が実施する途上国技術者に対する国際協力研修に講師を派遣した。

研 修 名	時 期	参加人数
ザンビア国別研修「橋梁維持管理能力向上プロジェクト」	9月28日	5名
JICA研修「総合橋梁コース」	10月9日	19名
国際地震工学研修「地震工学コース」	3月7日	11名

1-3 広報

(1) 機関誌「J_BEC レポート」の刊行

機関誌「J_BEC レポート」Vol.11を刊行した。

(2) ホームページを活用した広報

平成25年度に刷新したホームページの更新頻度をあげ、広報を強化した。

(3) 各種国内会議・イベント等への協力

各地方整備局管内で実施された建設技術展などのイベントに参加し、橋梁の点検技術等に関する展示を行った。

2 その他事業

2-1 調査研究業務

(1) 橋梁の検査（診断）業務

国土交通省の「橋梁定期点検要領」及び「道路橋定期点検要領」に基づき、直轄橋梁の検査（診断）業務等を実施した。

(2) 現場支援業務

福岡国道事務所において、有明海沿岸道路に関する現場支援業務を実施した。

(3) 新調達方式のための技術支援業務

四国地方整備局が実施する総合評価方式による発注に関して、橋梁工事の入札評価手続きに関する支援業務を実施した。

(4) 次世代社会インフラ用ロボット開発導入に係る現場検証支援業務

ロボットによる橋梁点検の実施可能性を検証するため、現地検証実験の開催、各ロボット技術の評価、評価委員会の運営等の支援業務を実施した。

(5) 点検高度化に向けたインフラ構造検討業務

橋梁点検作業の安全性の確保並びに効率化、省人化のために点検作業性を高め、ロボット等による自動化を効率的に導入することを目的とした橋梁構造や点検装置の検討業務を実施した。

(6) 自治体の道路橋維持管理の支援業務

地方公共団体が実施している橋梁の維持管理全般にわたる支援を行い、橋梁の点検・診断、補修・補強に関する諸問題に対してアドバイスを行った。

(7) 道路橋の点検情報の活用に関する検討業務

平成26年度の道路法改正を受け実施された橋梁の定期点検結果について、整理、統計的分析を行うとともに、データの活用方法の検討業務を実施した。

2-2 地方整備局及び地方自治体の人材育成業務

(1) 地方整備局現場研修支援

国土交通省等の技術職員を対象として、橋梁の維持管理に関する研修を支援した。

(2) 地方自治体の長寿命化修繕計画に関する橋梁技術講習会

地方自治体の職員を対象として、長寿命化修繕計画に関する橋梁技術講習会を支援した。

2-3 出版

(1) 「保全技術者のための橋梁構造の基礎知識〔改訂版〕」の発刊

平成27年5月鹿島出版会より出版し、販売中である。

(2) その他

「道路橋の補修・補強計算例Ⅱ」他の図書の販売を行った。